

Medical Group AISEIKAI

名古屋市北区東部
いきいき支援センター

名古屋市北区東部いきいき支援センター

センター長 水谷 正

1 特徴

いきいき支援センターへの名称変更から始まった1年である。そして公平性などセンターの理念が強く求められ、区役所、医師会、保健所、社会福祉協議会、民生委員協議会などとの協働化のもと、65歳以上の高齢者の総合相談窓口として、保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員等総勢15名が、医療・保健・福祉の連携をモットーに、住み慣れた地域の中で自分の力で穏やかに過ごして頂くため、9小学校区（宮前、飯田、名北、六郷、六郷北、辻、杉村、城北、東志賀）を担当する。保健師、看護師等が介護予防を、社会福祉士が、虐待、消費者被害などの権利擁護を、主任介護支援専門員は、地域のつながりを広めると共に、地域の介護支援事業者などの支援を行う。更に介護予防事業所として、要支援者のケアマネジメントを行い、また認知症を支援する事業も強化した。名称変更への市民の「地域でいきいきと過ごしていきたい」という熱い思いも含めて今後改めて予防を地道に推進することが重要となった。

2 2011年活動実績

特定高齢者に関わる事業が変更した。名称が二次予防事業対象者に、対象者決定機関が当センターとなり、そして医師会の協力のもと、いきいきメディカルチェックを活用して介護予防事業をより安全に普及するなど、それらシステムの安定運用に努めた結果、約890名（12月末現在）に対して、お手紙、電話や訪問などを通して運動器や口腔などの機能向上事業につなげるなど介護予防の推進を行う。そして一般高齢者にも対象を広げた当センター主催のいきいき予防教室を二回開催したことなどを通して、ポピュレーションアプローチというより早期な時点からの予防に向けた地域づくりなどの重要性を再認識した。次に経済的搾取や介護放棄などの多問題に対するケースワークを確実に推進し、悪質商法による消費者被害を未然に防止するためにも情報の配信を強化した。従来からの継続事業の認知症家族支援事業に加え、認知症本人への支援を強化して、区民向けの講演会を開催し、また普及啓発資料や認知症サポーターフォロー講座開催に向け、準備を開始した。最後に、通所系介護サービス事業者などの社会資源情報収集を行い、困難事例に対して同行訪問したり、新規居宅介護支援事業所などの後方支援を行った。そして566名（12月末現在）の要支援者のケアマネジメントを行う共に、介護保険サービス事業者の正しいサービス提供の在り方についても支援をした。

3 2012年目標

名古屋市からの受託事業として、行政と民間事業者との中間に位置し、直接支援する機関等へのつなぎ役や予防の視点を再度強化する情報発信基地等として、更に北区がより安全安心そして元気な街となるようなネットワーク作りの一役を大きく担う1年とする。最後に、一人でも多くの高齢者が、北区という住み慣れた地域において少しでも自分の力で、「いきいき」と過ごして頂くために、ご本人の状態像から医療への受診や予防の勧奨、権利擁護そして介護などの支援を確実に推進していくことを目標とする。